2月号 全家研 月刊ポピー 国語 一口ポイント 光村版

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は，教科書のページ数です。

1年 ずうっと，ずうっと，大すきだよ 📖106〜117

●**「ぼく」**と愛犬**エルフ**の心のつながりを描いた**物語**です。

●エルフに対する「ぼく」の**気持ち**を読み取ります。

1　一緒に大きくなった子犬の時。

2　家族がエルフの悪さをしかった時。

3　エルフが、年をとって死んでしまった時。

4　隣の子が、子犬をあげると言ったが断った時。

「ぼく」はエルフのことが，いつまでもずうっと，ずっと，大好きなんだね。

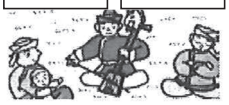
2年 スーホの白い馬 📖107〜126

●スーホという羊飼いの少年と白馬の心のつながりを描いた**物語**です。

●白馬を思いやるスーホの気持ちを読み取ります。

スーホの言葉

これから先、どんなときでも、ぼくはおまえといっしょだよ。	白馬、ぼくの白馬、しないでおくれ。



白馬に対する優しさと大事に思う気持ちが表れているね。

●心に残った場面を選び、感じたことを書いたり話したりします。

3年 モチモチの木 📖121〜136

●峠のりょうし小屋に**じさま**と二人でくらす、五才の**豆太**（まめた）の**お話**です。

1　おくびょうな豆太は、じさまなしで夜中に一人でせっちんにも行けない。

2　今夜は、小屋のすぐ前のモチモチの木に、勇気のある子どもしか見ることができない灯（ひ）がともるという。「――それじゃぁ、おらは、とってもだめだ――。」

3　その真夜中に、じさまが腹を押さえて苦しみだした……。

豆太は、ふもとのお医者様を呼びに行けるかのう。

4年 初雪のふる日 📖119〜138

●**初雪**の日に、雪を降らせる**白うさぎ**の列に飛び込んでしまった**女の子**の**物語**。

●言葉や表現に気をつけて読み取ります。

1　どこまでも続く**石けりの輪**を見つけて、つい飛び込んでみた女の子。

2　気が付くと前にも後ろにも、ぎっしり白うさぎの列。女の子は、どんどん進み飛び続ける列から、どうしても抜け出せない。

3　おばあちゃんから聞いた、**よもぎのおまじない**を思い出す。

5年 大造（だいぞう）じいさんとガン 📖219〜240

●大造じいさんと、残雪（ざんせつ）という一羽のガンの、闘いと友情の**物語**です。

●場面の様子を考えながら、人物の心情の変化に注意して読みます。

1　いつも残雪にやられて、一羽のガンも手に入れられない大造じいさん。

・つりばりをしかける。
・小屋の中にかくれる。
・おとりのガンを使う。

2　仲間を助けようとする残雪に感動する大造じいさん。

・残雪を放してやり、堂々と戦おうと呼びかける。

6年 中学へのMy（マイ）トレーニング

●1月号の「中学へのMyトレーニング」では、小学校で学習した国語の内容が理解できているかどうかをチェックしました。2月号では、そのチェックに基づいて、**中学の国語につながる重要な学習内容が復習できる**ようになっています。

●特に、1月号のチェックで苦手だと診断された内容は、**「ここがポイント！」**のコーナーをよく読んで理解し、どの問題もできるようにしておきましょう。

中学入学までに、苦手なところをなくしておこう！